

人道的見地から「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を求める意見書

沖縄で進められている辺野古新基地建設の海域埋め立てのため、沖縄防衛局は沖縄本島南部地域から土砂を採取しようとしています。

南部地域は、一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦により、多くの尊い命が失われ、未だに遺骨収集が進まずに遺骨が埋もれている地域です。

1972年の本土復帰に伴い、自然公園法に基づき「沖縄戦跡国定公園」として指定され、戦争の悲惨さや命の尊さを認識し戦没者の霊を慰めるための戦跡国定公園としては、日本にただ一つの場所となっています。

同地域では、沖縄戦で犠牲を強いられた沖縄県民や日本各地から戦闘に駆り出され命を落とした多くの方々をはじめ、世界各国の兵士の慰霊のため「平和の礎」もあり、国籍や軍人、民間人の区別なく、亡くなられた24万1593人のお名前が刻まれており、北海道の刻銘者も1万806人おられます。

戦跡国定公園内も含めた同地域には遺骨が未だ残されており、戦後76年たった今も具志堅隆松さんを代表とする沖縄戦遺骨収集ボランティアの皆さんにより遺骨収集が行われています。

国のために戦い犠牲となった方々の骨や血のしみ込んだ土砂を埋め立てに使うなどあってはならないことであり、戦没者への冒瀆です。人道上の大きな問題であり、許されない行為です。

よって、国会及び政府に対し、次の事項を速やかに実現するよう強く要請します。

記

- 1 沖縄戦で命を落とされた多くの方々の尊厳を守り、遺骨等が混入した土砂を埋め立てに使用しないこと。
- 2 住民を巻き込み苛烈な地上戦により多くの犠牲者を出した沖縄の事情を鑑み、戦没者の遺骨収集には「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に基づき、日本政府が主体となって速やかに遺骨収集し、慰霊を実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年9月17日

北海道中川郡美深町議会議長 南 和 博

【提出先】

衆議院議長	大島	理森	殿
参議院議長	山東	昭子	殿
内閣総理大臣	菅	義偉	殿
財務大臣	麻生	太郎	殿
外務大臣	茂木	敏充	殿
厚生労働大臣	田村	憲久	殿
国土交通大臣	赤羽	一嘉	殿
環境大臣	小泉	進次郎	殿
防衛大臣	岸	信夫	殿
沖縄及び北方対策担当大臣	河野	太郎	殿